

皮膚の科学

Vol.7 Suppl.10 OCT. 2008

アトピー性皮膚炎治療研究会第13回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎の予防と早期介入」

指定演題	アトピー性皮膚炎の病態からみた早期介入の意味	戸倉 新樹	1
	地域による疫学調査 (中国, チベット, 日本)	澄川 靖之	5
	衛生仮説とそのEBM	幸野 健	10
	アトピー性皮膚炎におけるダニ・アレルギーの重要性	中山 秀夫 他	16
	アトピー性皮膚炎の病態と治療において黄色ブドウ球菌, 神経成長因子, 反発性軸索ガイダンス分子Semaphorin 3Aが果たす役割	池澤 善郎 他	24
	アトピー性皮膚炎の病態に及ぼすマラセチアの 影響と抗真菌薬の治療効果	坪井 良治	33
	アトピー性皮膚炎に対する乳酸菌の効果	藤村 響男	38
	食物アレルギーの予知と予防	河野 陽一	45
	アトピー性皮膚炎発症誘因の分析 —予防対策のために—	青木 敏之	50
	発症因子, 要因の除去による皮膚症状の改善と予防効果	横関 博雄	56
	スギ花粉飛散時に眼瞼炎をきたすアトピー性皮膚炎の 特徴と対策	浅井 俊弥	62
	アトピー性皮膚炎の治療における早期介入について —サイトカイン・皮膚炎症から見た早期介入について—	中村晃一郎	67
	重症アトピー性皮膚炎の入院療法による早期介入	金子 聡 他	70
	アトピー性皮膚炎の病態から考える治療 —早期介入と展望—	向井 秀樹	76

発編
行集
人兼
手
塚

正

印発
刷行
所所

あ 日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方会
さ ひ 高速印刷株式会社

大 大阪大学医学部皮膚科学教室
替 振替口座 00900-0-94236

定価
一、五〇〇円